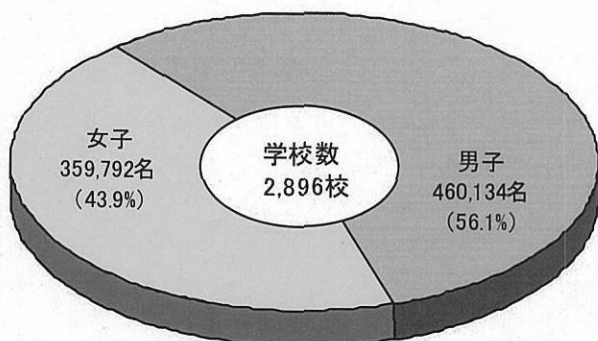
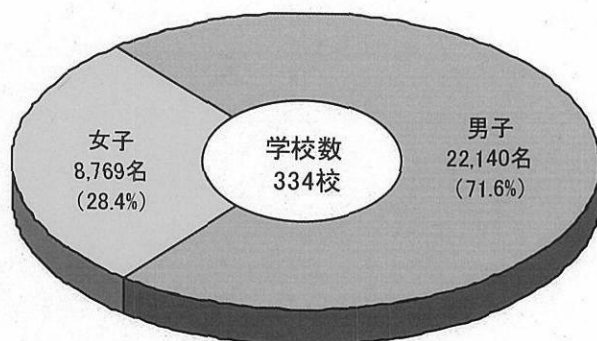


[4 : 高等学校専門課程の学校数と生徒数]

(全日制)



(定時制)



2. 高校福祉教育の内容

(1) 教育課程表

①東奥学園高等学校福祉科 現行教育課程 (基準 34 単位 : 本校 44 単位)

科目	教科	科目/学年	標準 単位	1年	2年	3年
				国語	国語総合	4
		国語表現 I	2			2
普通	地理	世界史 A	2		2	
		日本史 A	2			2
科	公民	倫理	2	2		
		政治経済	2	2		
教	数学	数学 I	3	2	2	
		数学 A	2			2
科	理科	理科総合 B	2	2		
		生物 I	3		2	
		化学 I	3			2
目	保体	体育	7~8	3	2	2
	芸術	音楽 I	2	2		
		美術 I				
	外国語	英語 I	3	3	2	
		O R C I	2			2
		L H R		1	1	1
		小計		20	13	13
		総計			46	

専 門 教 科 目	教科	科目/学年	1年	2年	3年
			家庭	家庭総合	2
		家庭看護・福祉			2
福 祉 科	福 祉	福祉情報処理	1	1	
		社会福祉基礎	3	2	
		基礎介護	2	2	2
		社会福祉実習	2	4	2
		社会福祉援助技術		2	2
		社会福祉演習		2	2
社 科 目	看護	社会福祉制度			3
		看護基礎医学		2	4
		小計	10	17	17
		総計		44	

- ・「保健」は「看護基礎医学」で代替
- ・「情報」は「福祉情報処理」で代替
- ・「総合的な学習」は「社会福祉演習」で代替

「社会福祉実習」8単位と「基礎介護」6単位の合計14単位で、「基礎介護」の指導内容にどの程度実習の要素を組み入れるかにより時間数は変わるが、単純に時間数を換算すると490時間となる。改訂案とほぼ同様の福祉科を現行で確保している状態である。なお普通教科の見直しにより、数単位を専門教科に増単することは可能である。

②教育課程表の充実・発展を目指す場合

高校福祉科カリキュラム充実改定案

「介護福祉士試験の在り方等介護福祉士の質の向上に関する検討会(H16. 6. 2)」の高校福祉科への指摘
 介護福祉士養成の現状と課題の中で「高校福祉科等の卒業者は、国家試験合格率は平均より高くなってきている一方、介護を必要とする者は生活歴が高校卒業者に比べ長く、高校生等の人生経験だけでは生活支援に対応できないなどの側面がある。」という指摘を受けた。

講義面では、養成施設と高校のカリキュラムは同程度であることから、施設実習の充実を図るため、同単位数を増加する必要がある。

教 科	現 行 高 校			現行養成施設		現 行 時間数差	高 校 改 定 案			改訂後 時間数差			
	単位	時間数	割合	時間数	割合		単位	時間数	割合				
全 体	普通教科	56	1960	62.2%	120	7.3%		50	1750	55.6%			
	専門教科	34	1190	37.8%	1530	92.7%		40	1400	44.4%			
	総 計	90	3150	100.0%	1650	100.0%		90	3150	100.0%			
専 門 分 野	福 祉	社会福祉基礎	4	140	11.8%				4	140	10.0%		
		社会福祉制度	2	70	5.8%				2	70	5.0%		
		社会福祉援助技術	4	140	11.8%				4	140	10.0%		
		基礎介護	6	210	17.6%				8	280	20.0%		
		社会福祉演習	4	140	11.8%				4	140	10.0%		
		小 計	20	700	58.8%	720	47.1%	-20	22	770	55.0%	50	
	家 庭 看 護	家 庭 総 合	家庭総合	4	140	11.8%				4	140	10.0%	
			小 計	4	140	11.8%	150	9.8%	-10	4	140	10.0%	-10
		看 護	看護基礎医学	4	140	11.8%				4	140	10.0%	
			小 計	4	140	11.8%	120	7.8%	20	4	140	10.0%	20
	実 習	社会福祉(臨床)実習	6	210	17.6%				8	280	20.0%		
		実 習 指 導	0	0	0.0%				2	70	5.0%		
小 計		6	210	17.6%	540	35.3%	-330	10	350	25.0%	-190		
合 計 (普通教科を除く)		34	1190	100.0%	1530	100.0%	-340	40	1400	100.0%	-130		

※単位=1日6時間×5日間×3年間で総単位数90単位

改定案では「社会福祉実習」「実習指導」の増単と、「基礎介護」を2単位(70時間)増単することにより、養成施設の实習時間540時間に対し高校は420時間を実習に充てることが可能になる。その差は-340から-130に減ることができる。

③アンケート分析

高等学校福祉科(福祉コース)の中の介護福祉士受験校に、現行の履修単位数と養成施設の履修時間数との格差を少しでも縮めるためにアンケートを実施した結果、187校中163校から回答をいただいた(回収率87.2%・未回答は閉校等によるものであった)。特に改訂検討にあたっては、実務経験を増やすより質の高い福祉サービス実践につながる「社会福祉実習」「基礎介護」を中心に単位数を増単することを検討していただき、その回答をまとめた。

養成施設の現行専門教科履修時間は1,530時間であるのに対し、高校においては最低単位数34単位を時間数に換算すると1,190時間となり、その差は340時間となっている。特に顕著な違いは、実習に費やす時間の差である。